

『児童発達支援自己点検及び評価シート』

作成日：令和5年5月24日
 事業所名：ここなくらぶ中百舌鳥

		現在の取組内容・今後の改善目標（内容）
1 環境・体制整備	①支援内容にあった指導訓練室・相談スペース等の確保	支援スペースは十分。 明確な区切りがないのでパーテーション等を使用。
	②職員の専門性・配置数 あい・さかいサポートリーダーの配置の有無	運営上問題なし。 十分な支援という視点においては+αが欲しい。 あい・さかいサポートリーダーの配置は無し。
	③送迎体制・添乗員の確保	常に添乗員を付けるのは難しい現状。
	④合理的配慮の視点に基づく環境整備	児童の成長に合わせて調整している。
	⑤職員の健康診断の実施	毎年1回実施している
2 業務改善	①アンケート等による利用児・保護者のニーズの把握とフィードバック	年に1回のアンケートを行っている。
	②職員の支援技術の向上・虐待防止等の研修 (障害児通所支援事業者育成事業利用の有無)	Zoomなどで必要な研修には参加している。 もっと児童発達支援の児童を対象にした研修があっても良いかもしれない。 育成事業は利用あり。
	③虐待防止等のための責任者を設置	設置している。
	④利用児、保護者からの苦情や意見への対応及び事業運営への反映	あれば送迎時や電話などで適宜対応している。
3 適切な支援の提供	①児童発達支援管理責任者による児童発達支援計画の作成 (アセスメント・利用児及び保護者の意向確認・計画案の作成・会議開催・計画の保護者への説明及び交付)	支援計画の作成、懇談、など適宜行っている。 スタッフへの共有も行っている。
	②モニタリングの実施、計画の見直し	毎月紙面によるモニタリングの作成、配布。 半年ごとに計画の見直しも行っている。

4 関係機関との連携	③個別の課題に対応した活動内容・プログラム	全体同一の活動、日常生活の中で、それぞれにあった個別の課題に対応できるようにしている。 児発を意識したプログラムも必要。
	④ミーティング等の実施	毎日の朝礼、終礼 月一行われる会議など
	⑤支援内容の記録	毎日業務日報に記入
	①サービス担当者会議への参加（障害児相談支援事業所との連携）	開催されたものには参加している。
	②認定こども園・幼稚園・保育園、保健センター等との連携	必要に応じて行っている。
	③他の児童発達支援事業所、児童発達支援センター、障害福祉サービス事業所等との連携	必要に応じて行っている。
	④（特に医療的ケアを必要とする利用児について）主治医や協力医療機関等との連携・連絡体制	対象者なし。
	⑤就学する際の移行支援（学校との引継ぎ・情報共有等）	実績なし。
	⑥「あい・ふあいる」の活用	あい・ふあいるを活用している保護者がいないため、あまり活用できていない。
	①事業所で実施している支援（支援内容、プログラムなどを記載してください。）	主に毎日行っている工作を通しての支援。 毎月のイベント(おやつ作り、誕生日会、外出など) 生活動作。 一人一人の課題に対して声かけを行っていく。

5 保護者への説明責任等	②運営規程、支援内容、利用者負担の説明	見学時や契約の際に行っている。
	③保護者からの相談への適切な対応、必要な助言	相談などがあればその都度、児発管を通して対応している。
	④会報の発行等による活動内容や行事予定等の定期的な発信	毎月作っているおたより。 毎週更新するブログ。
	⑤日々の支援内容、利用児の様子、おやつ等の保護者への報告	毎日の連絡帳に記載。活動の様子が分かりやすいよう写真も付けている。 帰りの送迎時に口頭で行っている。
	⑥おやつ代等実費徴収している費用に係る領収書の発行、精算報告	毎日の連絡帳におやつの内容を記載。 毎月の利用料と一緒にもらい、領収証を発行清算している。
	⑦身体拘束を行う場合の決定手順、利用児・保護者への説明、計画への記載	契約時に説明。 現在対象者なし。
	⑧個人情報の適切な取扱い	契約時に説明。 貰った情報の資料は鍵付きの場所にて保管。 不要になった物はシュレッダーにかけて処理している。
	①緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等の整備と職員、保護者への周知	いつでも職員が確認できる場所に設置している。 保護者への周知は口頭でにとどまっている。
6 非常時の対応	②非常災害の計画策定、避難・救出・その他必要な訓練の実施	会社として策定している。 年に2回避難訓練で避難場所の確認。 動画を使用して避難時の行動を学ぶようにしている。
	③ヒヤリハット、事故の事案を収集し再発防止等について事業所内において共有	毎日の日報に記載。終礼の際などに共有し再発防止の策を考える。

	④サービス提供中の事故を防ぐための取組等	子供の飛び出しや扉の施錠等の取り扱いは当然の事として取り組んでおり、可能な限り、職員は子供の動きに目を配るようにしている。
	⑤感染症対策の実施	手洗い、消毒、マスクの着用。 窓を開けての換気や空調管理。
7 その他	①地域との交流	特になし。 買い出しでお店を訪れる程度。